



楽しく外出中の子どもたち！（カンボジア孤児院）

特定非営利活動法人 礎の石孤児院理事長

北野 直人

皆さまの御支援サポートを心から感謝致します。もう師走になりました。この時期、皆さまも何かと忙しいことと思います。先月下旬、私たちの理事数名も同行し、日本の児童養護施設設立支援のため、福島県郡山市の視察がなされました。あの震災から1年以上経過し、まだまだ大変な状況のままのところも多くあります。その状況の中、子供たちに対する影響は、計り知れないものがあると思われれます。少しでも早く、児童養護施設設置がなされるよう祈る思いです。既存の孤児院のカンボジア、ザンビア、フィリピンでは、皆さまの貴重なご支援により、子供たちは元気に成長しています。ザンビアでは今、日本の高校入学試験にあたる試験の最中だそうです。結果はわかりませんが楽しみであります。ただ、このところ、海外の物価の上昇が思いのほか、激しく各孤児院より運営費のアップが願い出されています。子供たちも成長し、教育でも、費用がかかり始めています。皆さまのご支援によって、子供たちは支えられます。どうか、なお一層のご支援、御協力、心からお願い致します。よろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ！（こんにちは！）『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。毎年カンボジアに来られる折には子ども達を訪問して下さっています名古屋のNPO法人「ACHAN」の皆さんは、8月にも18名で訪問して下さいました。毎回日本のカレーを作りますが、今回も一緒に作って美味しく頂く事ができました。10月には、長崎のNPO法人「コミュニティ時津」の7名の方々が訪問して下さい、子ども達の成長を今回も大変喜んで下さいました。また、お米や調味料、洗剤など生活に必要な品々を持って来て下さり、お米は丁度買う必要があったので、大変助かりました。また、皆様からのご支援を頂きまして、孤児院で必要としていました車を今回購入することが出来ました。心から感謝申し上げます。皆様のご支援とご協力を頂ければ幸いです。どうぞ、よろしくお願い致します。



購入した車。

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

フィリピン孤児院へのご支援を心から感謝いたします。今年の学期休みは、楽しい行事があり、礎の石フィリピン孤児院の子どもたちにとって思い出深いものとなりました。11月1日、マルグランデ・オーシャンリゾートで行われた、教会の“ファミリーデー”のイベントに参加し、子どもたちは海岸でくつろいだり、楽しく遊んだりして過ごしました。10月に行われた運動会では3チームに分かれて競争しました。私とグレイスとサラジェインは青チーム、ジョシュアは赤チーム、シェイラ・マエは黄色チームでした。優勝したのは黄色チームでした。子どもたちは夢中になって楽しんでいました。今はまた学校の授業が始まっていますが、今でも子どもたちはあの時のことを楽しそうに話しています。彼らは来年も行われることを願って、今から楽しみにしています。毎週スモーキーマウンテンを訪問していますが、その訪問の日時を毎週土曜日の午後12:30から4:00までに変更しました。アシスタントとして同行してくれているシェイラ・マエとジョシュアも了解してくれました。この時間だと無理なく行くことができます。皆様の礎の石孤児院の働きに対する継続的なご支援を心から感謝いたします。さらに多くの子どもたちを助けていくためにも、引き続き皆様のご支援をお願いいたします。皆様のご家族、お仕事の上にもさらなる祝福がありますように。



運動会を楽しんだ子どもたち。

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリ ボワンジ（こんにちは）皆様のご支援に心から感謝申し上げます。皆様の日頃のご支援に、心から感謝申し上げます。9年生のフィデリスとテリーズが、高等教育を受ける試験（高校受験のようなもの）を受けています。試験期間は約2週間。一日2教科～1教科ですので、日本に比べるとのんびりしているように見えますが、実際とても重要な試験なのです。もともと勉強好きなふたりですが、現在は時間があれば、ノートをめくり、熱心に勉強しているので、結果が楽しみです。わたし達としても、試験期間は大幅に家事手伝いを免除してサポートしています。11月（雨季は10月から）に入りましたが、期待していた雨が全く降らず、来年の食料危機が危惧されています。孤児院でも毎年この頃は、耕作で大忙しなのですが、雨が降らないため、足踏み状態です。とはいえ、今年は財政難で、耕作に必要な7～10万円が全く捻出できず、見通しが立っていないのが現状です。この必要のためにも、皆様のご支援をよろしくお願い致します。



楽しく遊ぶデビッドとカレブ。

ブラジル孤児院レポート

松本 弘子

皆様の尊いご支援とご協力をありがとうございます。先月のニュースレターを書いて数日暑い日が続きましたが、すぐ雨が降り、このところ涼しい毎日、本当に助かっています。

先日は母からメールが届き、日本滞在期間中に受けた健康診断の結果を教えてくださいました。やや肝機能が低下しているが、あとは異常なしとのことでした。それまで不安に思っていたことをこの機会に検査することができ、ホッとしています。

さて、今年もクリスマスの季節が近づいてきました。去年クリスマスプレゼントを贈った孤児院にまた今年も何かしたいと思っています。

去年のように豪勢にはできないかもしれませんが。

さらにご支援をよろしくお願い致します。

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を！

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。

また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。

私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

【郵便振替】

(口座番号) 00130-5-24249

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2069305

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

児童養護施設（孤児院）設立支援のため

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2915961

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

【郵便振替口座】

(口座番号) 00120-5-417839

(加入者名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

「礎の石」パートナー募集中

私たち NPO 法人「礎の石」孤児院では、毎月10千円をもって孤児たちを支えてくださる「礎の石」パートナーを募集しております。

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所、Eメールアドレスまでお送りください。

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズヒル岩崎201

電話：03-5740-8814 FAX：03-5740-8817

E-mail：ishizue@athena.ocn.ne.jp

<http://www.cornerstone.or.jp/>